

# 「えんだらー」復活

江戸期の風情を残す福山市鞆町でかつて広く使われた可動式縁側「えんだらー」を岡山県立大（総社市窪木）の学生らが復活させ17日、旧中村薬局（福山市鞆町鞆）前の通りで市立鞆の浦学園児童が企画したイベントでお披露目する。

えんだらーは扇風機がない時代、古く狭い道が多い鞆町の道端に出され、寝転んだり、近所同士で酒を飲んだりして涼むのに使われていたという。建築学科の学生たちが元商店街の通りににぎわいをつくろうと、新

岡山県立大  
学生ら製作  
17日お披露目

型の設計を構想。昨年10月ごろから児童の力も借り製作してきた。

イベントは完成した縁側を使ってもらおうと、2、3年児童が意見を出し合って計画。大中小4台の「ネオ・えんだらー」を並べ、手作りの輪投げやボウリングといったゲーム、鞆の行事や名所に関するクイズラリーなどを行う。地元飲食店の出店もある。

午前10時～午後3時。問い合わせは、とも・こども商店街実行委員会（090-3278-3721）。

（上田勇輝）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。